大建管第482号
平成２０年１０月１５日

国土交通省道路局長　殿

大刀洗町長　安丸　国勝

今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成２０年９月１９日国道企第３７号付けで依頼のあった標記の件について、下記のとおり回答します。

記

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案について

１．必要な道路整備が安定的に実施されるよう、十分な予算措置がなされることと、地方道路整備臨時交付金制度を継続し更なる拡充を図ること。

１．地域の活性化や自立に必要な基幹道路の整備や渋滞解消のためのバイパスの整備など、住民の道路整備に対するニーズを幅広く汲み取るとともに、住民の期待に応えるべく道路整備を計画的かつ着実に推進すること。

１・道路利用者の意見を反映した道路整備を推進すること。

② 地域の現状と抱える課題について

１．現状　本町の道路体系は、町の中央部を南西方向から北東方向へ走る国道３２２号、まちの北部を横切る国道５００号が大きな骨格道路となり、さらに町の北部を福岡県から大分県に向かう大分自動車道が横断しており、筑後小郡インターが１０分以内の位置にあります。そのほか主要地方道久留米筑紫野線が町の西部を南北に通過するなど１１路線の県道が周辺市町村と連結し広域道路網を形成しており要衝の位置にあります。生活道路となる集落間を結ぶ町道については４ｍ未満の町道の解消をめざして整備を進めています。

２．課題

広域道路については、今後とも高速道路、国道、主要地方道、県道を中心とした交通ネットワークの整備を進めることが課題となります。昔のままの幅員や渋滞の激しい交差点の解消などバイパスの新設及び拡幅による自歩道等の設置など改良整備が必要となっています。特に主要地方道である久留米筑紫野線については、毎年 2～3 回程度、3 時間雨量１００ｍｍ、１時間雨量５０ｍｍ程度で５時間も通行止めになるなど利用者に多大な迷惑をかけている。

集落内の連絡と広域幹線道路への連絡道路である町道については、緊急の場合の消防自動車や救急車が円滑に通行できるよう４ｍ以上の拡幅を図る必要がある。また、少子高齢化社会に対応すべく通学道路や生活道路（集落間道路)、には安全確保を図るため「自歩道」の設置を推進する。

③　道路施策の重点事項

１．地域の自立と活力の強化

生活幹線道路ネットワークの形成

現道拡幅による隘路の解消（1.5 車線道路整備事業の活用）

２．安全・安心の確保

①防災・減災対策

耐震対策　橋梁の補強（長寿命化修繕計画による予防的な修繕と架け替え事業の推進）

②交通安全の向上

通学路の歩道整備　歩道等の整備